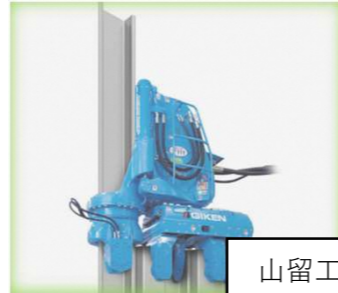


主な作業内容

- 1.仮設工事**
工事現場周辺に、高さ3mの鋼製仮囲いを設置し、出入口には仮設ゲートを設けます。
- 2.杭工事**
高強度コンクリート杭を固化材を注入しながら埋め込みます。
- 3.山留工事**
鋼矢板(シートパイル)を建物外周部に打ち込み、周辺への影響を防止します。
- 4.土工事**
パワーショベル等の重機により建物基礎部分の深さまで地面を掘り下げます。
- 5.コンクリート工事**
建物の基礎や事務所棟の上屋構造体を築造する工事です。鉄筋を組立て、生コンクリートを流し込む為の型枠を設置し、その後ミキサー車でコンクリートを搬入し、圧送車を使って流し込みます。
- 6.鉄骨工事**
主に車庫棟の上屋構造体を築造する工事です。工場で作られた鉄骨を搬入し、クレーン車を使用し組立てを行います。
- 7.外装・内装工事**
防水・建具・左官・内装・外装・塗装工事等を順次施工します。
- 8.外構工事**
敷地を囲むフェンス・ブロック塀の設置、敷地内の植栽・舗装の整備工事を行います。



杭工事



山留工事



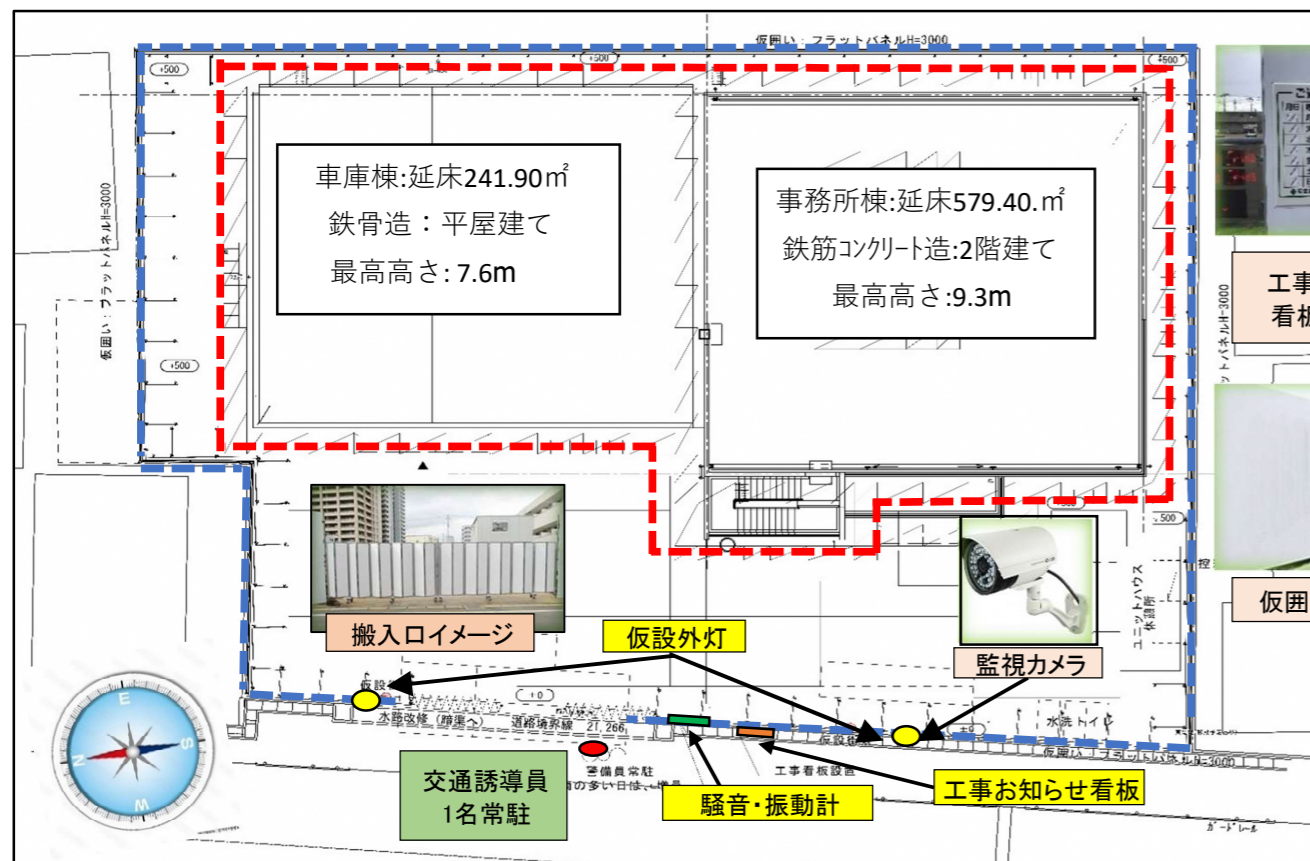
コンクリート工事



鉄骨工事

仮設計画図

- 鋼矢板(シートパイル)
- 鋼製仮囲い

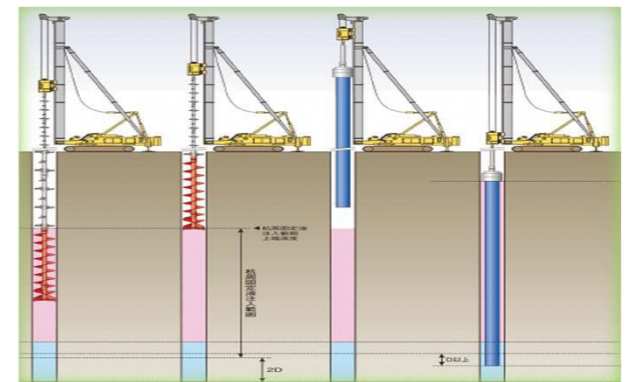


安全対策

- 1.交通安全対策**
工事車両搬入の際には、交通誘導員の誘導のもと、歩行者(第三者)最優先での交通誘導を行い、搬入車両と歩行者との交通事故防止を徹底します。(搬入車両の多い日は、誘導員を増員します。)
- 2.通勤・通学路(登下校時)の安全対策**
現場内への資材等の搬入時間は、現場周辺の通勤・通学時間を考慮してAM8:30以降の搬入といたします。(児童の下校時間である午後にはできるだけ搬入車両の台数を減らす様、計画します。)
- 3.防犯対策**
誤侵入防止の為、夜間・休日はゲートを施錠すると共に、現場西面仮囲いに防犯カメラを設置し、現場周辺の治安維持、現場内への不審者の侵入・放火・盗難等の防止に努めます。
- 4.火災対策**
現場作業において、火災が予想される作業(鉄筋の圧接、屋上アphalt防水、断熱材の吹付等)は消火バケツ、消火器等の消火設備を設置し火災防止に努めます。

騒音・振動低減対策

【技術的な対策】
杭工事はHyperストレート工法という、騒音・振動が少ない工法を用いて行います。本工事では杭挿入部の掘削を行い、掘削機の引抜きに合わせ、杭固定液を注入します。掘削及び杭固定液の注入完了後、杭を挿入します。



【杭工事作業イメージ図】

- 1.低騒音型重機の使用**
工事で使用される重機や発電機は、低騒音・低振動型を採用し、作業の際は不必要な騒音・振動を出さないように配慮しながら作業を行います。
- 2.排ガス規制型**
工事で使用される重機や発電機は、排出ガス規制の基準を満たした物を採用し作業を行いません。また、休憩時や待機の際は、アイドリングストップを徹底します。
- 3.騒音・振動計の設置**
騒音・振動計は、現場西面仮囲いのゲート脇に設置し、重機稼働の際に規定値を超えていないかの確認を行い、騒音・振動関係の低減に努めます。重機作業はAM8:30~PM5:00までとします。



現場入口(ゲート)付近に設置



騒音・振動計

- 4.飛散・粉塵対策**
地盤改良工事や杭工事など、土の飛散や粉じんの飛散が予想される作業は、仮囲いにブルーシートを設置し飛散対策を行います。粉じんの舞う作業は、散水などを行い飛散を軽減いたします。



杭工事飛散養生